

青パパイヤの牛すじ煮込みを盛り付ける向原さん

國際協同組合年

畜産部会が市内の畜産を身近に感じてもらうと、牧草ロールに絵を描けるコーナーを設置。16日(日)午前9時から、農産物品評会の出品物の即売も行います。ぜひご来店ください。

さまざまな意見が寄せられた秋の座談会（平沢・今泉）

が出席し、JA事業などに対して356件の意見・要望が寄せられた。各会場では、2025年度上半期事業の状況などを説明した。組合員からは「はたのコンモンス体験農園について教えてほしい」「組合員が減少しているが、何か対策はあるのか」などさまざまな声が上がった。

JAはだのは、10月1さまに誠実に対応することで組織的に対応します。

組合員・利用者のご理解を

は、
カスタ

マーハラスメントとして 囲を超えた要求や言動が 良好な関係を築けるよう
社会問題化しています。 組合員や利用者の皆さま 努めていきますので、ご
ＪＡは日頃の取引や対応 からあった場合には、毅 理解とご協力をお願いし
で、組合員や利用者の皆 然（きぜん）とした態度 ます。

◎内容 秦野産の野菜・果物

- ・ 花の販売、焼きそば・焼き鳥
- ・ フランクフルト・焼き芋・ぴーなマン焼きの模擬店、足柄茶の販売、生活協同組合パルシステム神奈川・ユーコープの商品PRなど

お問い合わせは組織教育課まで。 81-7714

JAはだのは、秦野市市民の日の会場内で「食と農のふれあいフェスタ」を開きます。皆さまお誘い合わせの上、ぜひご来場ください。

◎日時 11月3日(月) 午前9時30分～午後3時

◎場所 市カルチャーパーク

多目的広場

「食と農のふれあいフェスタ」開催

多目的広場

で。
☎
81-7714

社会問題化しています。組合員や利用者の皆さま、努めていきますので、ご

文中の表彰などの人名紹介の際の敬称は省略させていただきます。

捕獲おり 巡回チェック

全92基の管理状況を確認



おりの管理状況を確認するセンター職員ら

獣害防止へ「逃げ道」封鎖

はだの都市農業支援センターは、獣害対策として設置している捕獲おりの現地検討に、継続して取り組んでいる。地域が一体となって設置場所や管理状況などを確認。9月末時点で二ホンシカ38頭、イノシシ28頭を捕獲する成果を上げている。

現地検討会は、鹿やイノシシが繁殖期を迎える春と秋に毎年開く。センター職員らや、おりの管理する農家や地元猟友会の会員らが全92基の捕獲おりを巡回。市内の全域を対象にすることで、獣の逃げ道を封鎖することにもつなげている。

3、7、9、10、15日の5日間、今年2回目となる捕獲おりの現地検討会

らい、手入れしなければという気持ちになった」と話した。

センター職員は「しっかりと管理されているおりが多かった。引き続きほしい」と呼びかけた。

気候に合わせた管理に

やさい部会いちご部が講習会

やさい部会いちご部は9月29日、本所で栽培管理講習会を開いた。部員8人が、イチゴの栽培管理のポイントを学んだ。県農業技術センター職員が、部員のイチゴ苗の花芽分化を調べた結果を報告。夏期の高温の影響で全体的に分化が遅れ、定植時期を遅らせる必要があることを周知した。

さらには、今後3カ月の天候の見通しを伝え、マルチをかける時期や、季節外れの高温が発生した時の対応方法について説明した。

片野和彦部長は「今年も厳しい暑さが続いたので、気候に合わせた管理方法を学べて参考になった。」

花き部会露地部は9月27日、じばさんずではたばこ祭露地部切花品評会を開いた。審査の結果は次の通り。

野市農業委員会会長賞 亀崎善太郎・小菊(小薔毛)▽金賞4席・神奈川県園芸組合連合会会長賞 柳川賢治・小菊(平沢)



管理方法を学んだ講習会

キウイ「丹沢レッド」出荷

「甘くておいしい」と人気

果樹部会キウイフルー「フルーツ「丹沢レッド」7月は、県内の市場に出ツ部の部員は9月20、21を出荷した。部員8人が荷した他、じばさんずの両日、早生種のキウイ 選果場に持ち込んだ3・販売した。



「丹沢レッド」の品質を確認する川口さん

「丹沢レッド」は果肉の中心部が赤く、高い糖度と食味の良さが特徴。部員が丹精して育てた良質な果実は、消費者から「甘くておいしい」と好評だ。近年は、キウイフ

JAグリーンは農家を応援します



農薬や肥料を特別価格で販売

タマネギ資材キャンペーン

11月1日(土)～16日(日)

J Aグリーンはだのは11月1日(土)～16日(日)、タマネギ栽培関連の資材キャンペーンを実施します。農薬や肥料、マルチなどを特別価格で販売しますので、お得なこの機会にぜひご利用ください。お問い合わせはJ Aグリーンはだのまで。☎81-7719

営農技術

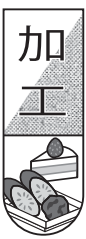
ヒント・ポイント

かながわ鳥獣被害対策支援センター 0463-22-9521 (廣瀬)

農業技術センター 普及指導部 0463-58-0333

●果樹花き課 果樹(大井・曾根田 満田) 花き(青木)

●野菜課 (杉山) 作物加工課 (城戸) 加工(小川)



加工

「べったら漬け」
手作りに挑戦

最近、手軽にできる漬物用の「〇〇の素(もと)」といった商品を目にする人が多いと思いますが、わが家ならではの味、ダイコンを使った

漬物を紹介します。

①収穫したダイコンはよく洗う。葉を落として皮をむき、縦に半分に分けて、1日天日干しにする。長いものは横に半分に分けて切る。

②ビニール袋を入れた容器を用意し①に塩をまぶして入れる。空気が入らないようビニール袋の口をしぼり、5、10の重石をする(いくつかに分けて作った水重石が便利です)。水が上がってきたら上下を入れ替えて(漬け替え)、重石を半分にする。出た水は、ダイコンの表面が空気に触れない程度まで残し、あとは捨てる。

③4、5日したらダイコンを取り出して、表面の塩分を水で洗い流し、ざるなどに並べて半日ほど乾かす。

砂糖の量はお好みで、甘さを加減してください。甘口の漬物です。こくがあるのは三温糖ですが、白砂糖だと白く仕上がります。この機会に商品化に挑戦してみてください。

今回の「たくあん漬け」は「たくあん漬け」、米は「たくあん漬け」、米は「たくあん漬け」、米は「たくあん漬け」。

④米こうじと砂糖を合わせ、水(ぬるま湯)を加えて溶かし、漬け床を作る。

⑤容器に入れたビニール袋の底に④を少し入れ、ダイコンと④を交互に入れる。空気が入らないようビニール袋の口をしぼり、軽く重石をする。2、3日したら漬け替え、1週間ほどで出来上がり。保管場所の温度などの条件によって異なるので、漬かり具合を確認する。冷蔵保存し、1週間で食べ切る。

熱気に包まれる会場

開会式で石井理代部長が「体を動かしながら笑顔で交流できる素晴らしい機会。大きな声で笑って、思い出に残る楽しい運動会にしよう」と部員に呼びかけた。高橋昌和市長や宮永均組合長、県JA中央会職員があいさつし、部員にエールを送った。

部員は「ぴーなマン体操」で準備運動をした後、支部対抗で競技に汗を流し、熱気に包まれた。

女性部は2日、メタックス体育館はだの女性部運動会を開いた。部員234人が支部ごとに分かれ、得点を競った。支部対抗障害物リレーなど、10種目のプログラムで盛り上がり、会場は熱気に包まれた。



支部対抗で白熱した玉入れ

たばこ音頭パレード参加
踊りで女性部PR

女性部は9月28日、第78回秦野たばこ祭内のイベントで開催した「たばこ音頭パレード」に参加した。各支部から合計25人が集まり、音頭を踊りながら、会場が一体となった。

わけて作られた振り付けを踊って、会場が一体となった。

100ダンで絆強める
JAはが野女性会と交流会

女性部は20日、姉妹提携を結ぶ栃木県のJAはが野女性会との交流会を埼玉県で開いた。互いに活動を報告した他、体操やダンスなどで体を動かしながら、絆を強めた。

両組織は、2007年10月に全国のJAの中で初めて、女性組織同士の姉妹提携を締結。以来、互に行き来し、交流を深めている。

参加者計70人は、坂戸市で研修会を開き、JAしあわせ健康教室で体を動かした他、今年の活動内容について互いに紹介。女性の活躍について意見を交わした。家の光創刊100周年を記念し

いっしょに女性部活動
上支部柳川久所生活班

私たちの班は、50代から70代までの6人で活動しています。数々の行事の中で、特に運動会は一致団結して、日頃の運動不足解消になつています。また、上地区ならではの活動として、須藤ぶどう園でのブドウ狩りを楽しませていただきました。

班長として月1度の支部会にできる限り出席して、女性部全体の知識や情報を取り入れ、今後の糧になるように努めています。

これからも班員の皆さんに声をかけ、積極的に参加できるように、積極的に健康に気を付けて親睦を深めていきたいと思います。

西支部
お茶飲み交流会

西支部は15日、支所が開いたお茶飲み交流会を手伝った。高齢者福祉活動の一環で、女性部西支部が協力。体操や折り紙など

北支部
支部旅行

北支部の部員35人は9月30日、支部旅行で静岡県を訪れた。

部員は、体験型フードパーク「KADODE OOI GAWA(カドデ・オオイガワ)」で、大井川流域の農産物や特産品などの買い物を満喫した。

その後、大井川鉄道井川線のアプト式列車に乗車し、奥泉駅から接叡峠温泉駅までの区間、絶景を楽しみながら部員同士の親睦を深めた。

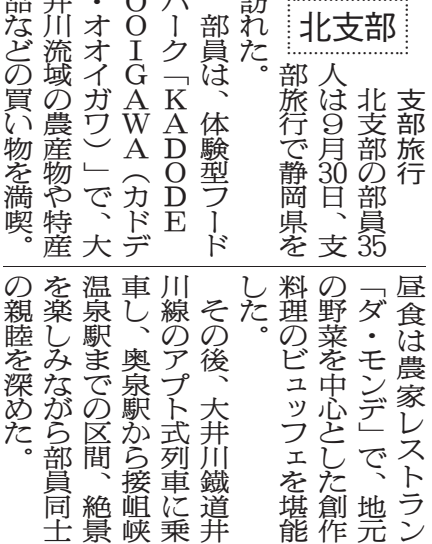
交流会に参加した部員と会員

その後、飯能市にある「メッツアビレッジ」を訪問。北欧をテーマにした施設を班ごとに散策し、会話を弾ませながら面白い物などを満喫した。

参加者は「いつもより話をする時間が持てたので、しっかりと交流する事ができた」と話した。

筋力低下で軟骨がすり減ると、変形性膝関節症になりやすいことを説明。早く治療することで進行を抑えられることを伝えた。

部員は、太ももの前側の筋肉を鍛えることや、温めて血行を良くすることなど、予防のために日常生活で注意することを学習。座った姿勢でできる膝のトレーニングを教わりながら、膝を曲げたし伸ばしたりした。



KADODE OOI GAWAで記念撮影

11月の女性部行事予定表	
3日(月)	9:30~食と農のふれあいフェスタ
6日(木)	10:00~第4回スポーツ運営委員会
//	13:30~本部役員会
7日(金)	9:30~大根支部「ふるさと料理教室」(みどりこども園)
12日(水)	9:30~西支部「フラワーアレンジ」
14日(金)	9:00~南支部「グラウンドゴルフ大会」
//	9:00~バザー前日準備
15日(土)	9:30~バザー
17日(月)	8:10~企画旅行(18日まで)
20日(木)	9:30~南支部「ふるさと料理教室」(南幼稚園)
28日(金)	13:30~本町支部「支所お茶飲み交流会 手伝い」



「米の日」の対象銘柄をボードに掲示

水曜米の日復活

指定銘柄お買い得に

じばさんずは、新米の時期を迎えて、米の安定的な入荷の見通しが立つため、1日から「米の日」を再開した。毎週水曜日に指定した銘柄米1品種を、店頭表示価格から10%引きで販売している。

指定の銘柄は毎週変わる。北原慶徳店長は「要望の多かった米の日を再開できた。いろいろな銘柄米を試してもらい、お気に入りの米を見つけたらうれしい」と話した。



タマネギの質量向上へ

栽培前に講習会

じばさんずは9月24日、本所で「タマネギ苗・タマネギ栽培講習会」を開いた。タマネギの栽培が始まる前に、苗作りと栽培管理の方法を学んでもらい、品質向上と収量増加につなげることが目的。出席者28人が参加した。

講師を務めた営農課の松下一興園芸技術顧問は、タマネギに発生する病害の概要や対策も学習した。

委員は、女性部員が持ち寄った品物や、手作り日用品、衣料品なども並べ、祭りに訪れた来場者に声をかけながら、JAや女性部の活動をPRした。

できるだけ地場産食べよう

JA職員 小学校で出前授業

JAはだの3日、市立南小学校で5年生約180人を対象に、出前授業をした。JA職員が「自給率について学ぼう!」をテーマに授業し、市内の食料生産の現状や、食料自給率を高めるための考えなどを説明した。

児童は「食料の輸入が止まったらどうなるのか」「農産物を食べることで応援に繋がっている」と話した。



積極的に質問する南小学校の児童

農の学び

市内で、地域の農業を学ぶ取り組みが広がっている。JAはだの地元農家は、さまざまな活動を通して、子どもたちや准組合員に農業の大切さを伝える。実際に畑で農作業を体験したり、農家の話を聞いたりすることで、農業の課題ややりがいなどを学び、理解と関心を深める。

子どもたちや地域の人に大切さ伝える活動広がる

栽培通し課題知る

サツマイモ収穫の楽しみも

西支所運営委員会は18日、農業体験として企画した。収穫したサツマイモは、参加者が持ち帰った他、作業に取り組んだ。荒廃地や鳥獣被害など地域の農業が抱える課題を、管内の准組合員らに知ってもらう体験の一環。委員や准組合員らが収穫に汗を流しながら、地域農業の現状に目を向けることも、収穫を満喫した。

基礎講座で畑見学



落花生の特徴を解説する三嶽さん

児童が稲作り体験

地元農家からサポート



大津博さんが稲の刈り方を指導

市立東小学校の5年生約80人は9月24日、東田原の田んぼで稲刈りとはさぎけを体験した。同校と東地区社会福祉協議会が一体となって取り組む「おすまの里・稲作り体験教室」の一環。児童は地元農家のサポートを受けながら、農作業に汗を流した。

教室は世話人を務める農家を中心に、児童が田植えや稲刈りなど一連の米作り

の過程を体験する。今年度は、稲刈りからはさぎけまでを体験した。収穫した米はJAで精米された。児童は小さな苗だったのに、大きく育ってたくさな穂をつけていてうれし

い「稲をわらで束ねるのが、流発に意見交換し、交流する場として考えていることを伝えた。

その後、年間作付け計画や栽培方法について質問した。三嶽さんや受講者同士で活発に意見交換し、交流を深めた。

被災農地の復旧を視察



地下排水管の設置について説明する高梨さん

視察後、牧島議員は菩提寺で意見交換会を実施。食料安全保障や新規就農者の動向など、地域農業の将来や振興について参加者と活発に議論した。

名古木の棚田でも現地を視察した後、東支所で意見交換会を実施。鳥獣被害対策などの課題について、参加者と情報共有した。

No.507

発見 町長さん

室町で美容室「ラ・スール」を営む山本久美子さんは、東京の美容専門学校を卒業後、世田谷区で美容師として勤務し技術を磨いた。同店は974年にオープン。99年に厚生労働大臣表彰、2004年には県民功労者

お客さまをきれいに



表彰を受賞。その後、全日本美容業生活衛生同業組合連合会の理事

を務めた。24年には、長年にわたる活動

を続ける。24年には、長年にわたる活動

感染症対策を学ぶ

菖蒲生産組合が健康教室



洗い残しを確認する組合員ら

菖蒲第一・第二・第三師が「感染予防も平時から健康教室を開いた。生換気が感染症対策になることを説明した。組合員一人一人にチェックを付けていき、組合員ら16人が参加した。



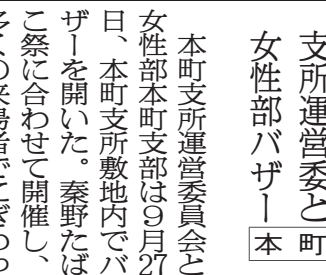
表彰状を受け取る三瓶常務

菖蒲第一の諸星一雄生産組合長は「手洗いの重要性が改めて分かった。これからも地域の組合員が出席し、表彰状を受け取った。農業者年金は、農業の担い手のための公的年金制度。原則65歳から、一生にわたって受け取れる終身年金で、支払った年金の全額が社会保険料控除の対象となる。加入者が積み立てた保険料とその運用益で将来の年金額が決まるため、加入者数や年金受給者数に左右されないのも魅力の一つだ。未加入の方はぜひ検討を。」



本町支所で開いたバザー

競技は新ペリア方式でハンディを算出し、順位を決定。見事優勝した久保谷公貴さんには、賞状の他、ハウスミカンや米などの記念品を贈呈した。大会の結果は次の通り。



優勝した久保谷さん

本町支所運営委員会と女性部本町支部は9月27日、本町支所敷地内でバザーを開いた。秦野たけこ祭に合わせた開催し多くの来場者でにぎわった。

古木の棚田を訪れ、農地関係者や生産組合員らと意見交換した。

菩提寺では、被害を受けた高梨茶園の高梨孝さんが、復旧工事の概要を説明。大雨による再被害を防ぐため、地下排水管を設置するなど、現場の工夫や今後の課題について

告知板

J A グリーン
毎週火曜定休

J A グリーンはだのは
11月から定休日を導入し
ます。これまでの年末年
始(12月31日、1月1日
～3日)に加え、毎週火
曜日を定休日とします。

11月15日に
女性部バザー

女性部は、11月15日
(土)に本所で「女性部
バザー」を開催します。

お問い合せは生活福
祉課まで。☎72-766
1

ご不便をおかけします
が、ご理解とご協力をお
願いします。

お問い合せはJ A グ
リーンはだのまで。☎81
-7719

農業機械センター
臨時定休日を設定

農業機械センターは11
月から3月まで、臨時定
休日を設定します。

1月1日～3日に加え、
毎週日曜日と祝日を定休
日とします。

ご不便をおかけします
が、ご理解とご協力をお
願いします。

お問い合せは農業機



【11月のイベント】

☆「おススメ！果物・野菜・加
工品」1日(土)2日(日)
8日(土)9日(日)22日(土)
23日(日)29日(土)30日(日)
旬の果物や野菜、お薦めの加
工品などを店舗外の特設コー
ナーで販売します。

☆「食と農のふれあいフェスタ
出張販売」3日(月)
市民の日イベント内、カルチ
ャーパーク多目的広場の「食
と農のふれあいフェスタ」で
野菜・果物・花などを即売し
ます。

☆「豚肉加工商品の日」14日(金)
株フリーデンが国産豚を使用
したお得な商品を販売しま
す。

☆「じばさんず周年祭」15日(土)
16日(日)
開店から23周年を迎えます。
店内全品を10%引き。さらに、
産地間提携を結ぶ全国のJ A
の加工品・農産物を限定で販
売します。

☆「たまごの日」毎週月、金曜
日
店頭価格から10%引き。一部
の生産者出荷品は除きます。

☆「米の日」毎週水曜日
指定の銘柄米を店頭価格から
10%引き。

☆「肉の日」毎週木曜日と29日
(土)
店頭価格から5%引き。

【Sun's Gelatoのイベント】
☆「ジェラートの日」毎週火曜
日

店頭価格から10%引き。
☆「ポイント2倍デー」3日(月)
13日(木)23日(日)
サン(3)ズジェラートの日
は、ジェラート1個ご購入で
スタンプカードに二つ押印し
ます。

☆「お得なパンセット」8日(土)
18日(火)28日(金)
8の付く日はパンセットの
日。クロワッサンなどのパン
商品を5個300円で販売しま
す。組み合わせはお好みで選
べます。

☆「じばさんず周年祭」15日(土)
16日(日)
2日間限定でジェラートを各
サイズ20%増量します。

☆「ワンスプーンサービス」
雨の日は、ジェラート購入で
お好きな味をスプーン1杯分
お付けします。

◎11月11日(火)は定休日です。
※準備の都合上、イベントが
変更になることがありますの
で、ご了承ください。

ますので、ぜひご覧くだ
さい。

◎開催日 11月4日
(火)～9日(日)※4日は
正午から展示します。

◎場所 じばさんず店
舗外テント

お問い合せは生活福
祉課まで。☎72-766
1

本所駐車場の急速
充電器は運用終了

本所駐車場に設置して
いる電気自動車用急速充
電器は、通信サービスの
終了や周辺施設での充電
設備の増加に伴い、運用
を終了しました。ご不便
をおかけしますが、ご理
解をお願いします。

お問い合せは企画課
まで。☎72-7844

農産加工テーマ
相談会へ気軽に

農産加工をテーマにし
た相談会を開きます。ど
なたでもお気軽にご参加
ください。

◎日時 11月18日(火)
午前10時～午後4時

◎場所 本所農業団地

センター2階 調理実習
室

◎内容 午前は県農業
技術センターの職員が、
保存期間を延ばすための
技術に関する講義を行いま
す。午後は、個別の相
談をお受けします。

お問い合せは生活福
祉課まで。☎72-766
1

名水サミットに
参加しませんか

秦野市は11月8日(土)
に第39回全国水環境保全
市町村連絡協議会全国大
会(名水サミットinはだ
の)を開催します。

自然豊かな丹沢山地が
育む地下水は「秦野名水」
と呼ばれ、市民共有の財
産(公水)として多くの
人々の手で守り、伝えら
れてきました。今も多く
の人々の生活を支えるこ
の水が、なぜ「名水」と
たたえられているのかを
知り、将来へ引き継ぐた
め、今、私たちに何がで
きるのかを考えてみま
せんか。

◎日時 11月8日(土)

農産物の生産意欲と栽培技
術の向上、優良品種の普及を
目的に、秦野市農産物品評会
を開きます。今年で61回目を
迎え、じばさんず周年祭と併
せて開きます。多くの出品を
お待ちしております。

◎開催期間 11
月14日(金)～16
日(日)

◎会場 本所3階 虹の間

◎日程 11月14日(金)午
前8時30分～同10時30分

▽審査 11月14日(金)午
後1時～

第61回農産物 品評会開催 ぜひ多くの出品を

を付けてください。

▽出品物は、市内の農業者
が自ら生産した農産物または
加工品で、同一生産者からの
出品は、1品目につき1点ど
でに会場に搬入してください。

▽加工品は、11月15日(土) 課まで。☎82-9626

お問い合せは市農業振興

お問い合
出しながら

◎時給 1230円

◎時間 午前8時～午
後6時 ※時間内でシフ
ト制

◎待遇 社会保険完備
・交通費規定支給・車通
勤可など

ジェラート店「Sun
's Gelato」のスタ
ッフも募集しています。

お問い合せは、じば
さんずまで。☎81-77

◎業務内容 レジ・品
07



お問い合
出しながら

野焼きの際は
注意・配慮を

屋外での焼却(野焼き)
は「神奈川県生活環境の
保全等に関する条例」で
禁止されています。た
だし、農林業者が行う野
焼きは、自己の農業・林
業の作業に伴い行う焼
却で、軽微なものに限り
認められています。

毎年、秋になると「洗
濯物に臭いが付く」「煙

午後3時～同4時の間に会場
へ引き取りに来てください。
▽優秀賞受賞の各賞最上位
者(6人)には、高品質な農
産物であることをPRして
もらうため、直売所などの出
荷の際に貼るシ
ールをお渡ししま
す。

▽規格表はQR
コードを読み
取り、市のウ
ェブページ内
から確認し
てください。

お問い合せは市農業振興

お問い合せは市生活

お問い合せは市生活

お問い合せは市生活

お問い合せは市生活

お問い合せは市生活

お問い合せは市生活

お問い合せは市生活

年金無料相談会

これから年金を受け取る皆さまの複雑な受給手続きの
お手伝いをさせていただきます。
社会保険労務士がご相談にお応えします。

ご来場の方に
粗品を進呈

10月29日(水) 東支所

11月30日(日) 本所農業団地センター

時間 午前9時～午後4時

できるだけ
事前予約を
お願いします

ご予約・お問い合わせは

信用課 TEL.81-7716

3 必要事項をご入力
事前審査結果は
Eメールにてご連絡いたします

ケイトウ 色鮮やか



加藤さんが丹精して育てた羽毛ケイトウ

ハロウィーンに最適

畑を開放し景観づくりも

平沢で加藤園芸を営む加藤宗雅さんが栽培する「羽毛ケイトウ」が、出荷のピークを迎えている。赤や黄、ピンクの鮮やかな色合いと、ふわふわした質感がハロウィーンの飾りや生け花に人気。市場やじばさんなどに11月中旬まで出荷する見込み。

平沢の加藤園芸

加藤さんは、12年前の就農時からケイトウを栽培。現在は「羽毛ケイトウ」「クルメケイトウ」「石化ケイトウ」の3種を栽培する。今年は猛暑と少雨の影響で害虫による被害が心配されたが、

適切な管理が功を奏し順調に生育。ポリウムがある品質の良いケイトウに仕上がった。地域住民にも色鮮やか

農地活用事例学ぶ

組合員講座 体験型農園を視察



園主の和田さん④が同園を案内

組合員講座の受講者21人は3日、平沢の体験型農園「名水湧く湧く農園」を視察した。農地の有効活用事例を学ぶことが目

的。園主の和田礼子さんから、開園までの経緯や運用方法などについて説明を受けた。

受講者は「今年は酷暑だったが栽培上、工夫したことはあるのか」「農地の活用事例としてとても良い取り組みだと思う」「など意見や感想を話した。

和田さんは「興味を持ってもらいたい。一緒に安心な野菜を作れたらうれしい」と呼びかけた。

んの時期にぴったりなので、自宅に飾って楽しんでほしい。花と触れ合う時間を持ってもらえたら」と笑顔を見せた。

キウイとミカン 袋にいっぱい!!

自分で収穫する喜びを

はだの都市農業支援センターは18日、南矢名の果樹園で、キウイフルーツ「ハイワード」とミカン「ゆら早生」の収穫体験会を開いた。農業体験イベント「はだの農業満喫CLUB」の一環。参加者は、園を管理する尾澤健一さんと交流しながら、旬の果実の収穫を満喫した。

参加者5組12人は、尾澤さんからおいしい実の見分け方や収穫方法の説明を受けた後、収穫作業を開始。園の中を歩いて、大玉のキウイフルーツを探したり、試食しながら好みのミカンを収穫したりして、袋いっぱい詰めて持ち帰った。

尾澤さんは「自分で収穫する楽しさを感じても



キウイフルーツを収穫する親子

らえたようで良かった。去年は台風の影響があり今年は無事開催できて安心した。」と胸をなで下ろ

接近! おじゃまはす

④38

堀山下の飯田竜さんは、秦野で生まれ育ち、食品製造業などに携わってきた。趣味で植物の栽培や生き物の飼育を続ける中で、自分で育てた作物を販売できる農業に魅力を感じ、30歳の時に就農を決意。地域の先輩農家に教わりながら、栽培の技術を身に付けた。約1畝でサツマイモ



堀山下の飯田竜さん(53)

サツマイモ新品種に挑戦

やサトイモなど年間30品目以上を栽培し、じばさんに出荷する。サイズの大きい野菜が好きで、ジャンボピーマンや巨大ズッキーニなども販売。「ちょっと変わっていて面白いものを出している。大きくても味はおいしい。自信作」とにっこり。秋はハロウィーン用の栽培に常に挑戦している。青パパイアは、4年前に市内で導入された当初から栽培を継続も意欲的だ。サツマイ

部で副部長を務め、部の運営にも尽力している。

小さい頃から生き物が好きで、会社員時代から飼っている亀の他、猫、ウナギ、ナマズ、カブトムシの世話が日々の安らぎだ。7匹いる猫には「はるか」「金時」などサツマイモの品種にちなんだ名前を付け、かわいがっている。

「作った野菜をたくさんのお客さんに食べてもらいたい。観賞用の巨大カボチャは県外からの問い合わせもあるので、さらに大きいカボチャ作りに挑戦してみたい」と意気込む。

やえのちゃん ぴーなマンの インスタ この1枚



やえのちゃん



ぴーなマン

今月の1枚は10日に掲載したカボチャの楽しみ方を紹介した投稿よ。

カボチャの種類や特徴が分かりやすく紹介されていて、勉強になったよ。特徴を生かした使い方をすると、料理がおいしくなりそうだね。



やえのちゃん

秋の料理や、ハロウィーンの装飾に欠かせない野菜よね。じばさんずでは「バターナッツ」や「九重栗」など、いろいろな種類が並んでいるわ。お気に入りを見つけてみてね。



♡ Q ♡



ぴーなマン

InstagramのJAはだの公式アカウントは、この他にも季節の農産物やレシピ、じばさんずの情報を発信しているよ。ぜひフォローやいいねをしてね。

